



平成30年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年10月26日

上場会社名 アートsparkホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3663 URL http://www.artspark.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野崎 慎也
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 伊藤 賢 (TEL) 03-6820-9590
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年12月期第3四半期の連結業績(平成30年1月1日~平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第3四半期	2,827	2.5	428	△17.0	417	△17.6	343	△21.3
29年12月期第3四半期	2,757	△9.5	516	5.9	506	10.8	436	14.2

(注) 包括利益 30年12月期第3四半期 348百万円(△20.6%) 29年12月期第3四半期 439百万円(14.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第3四半期	50.57	49.70
29年12月期第3四半期	64.34	62.83

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年12月期第3四半期	4,249	3,490	81.8
29年12月期	4,024	3,167	78.3

(参考) 自己資本 30年12月期第3四半期 3,476百万円 29年12月期 3,152百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期	—	0.00	—	4.00	4.00
30年12月期	—	0.00	—	—	—
30年12月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年12月期の連結業績予想(平成30年1月1日~平成30年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,621	△0.4	367	△13.4	343	△16.4	251	△33.0	36.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年12月期3Q	6,799,220株	29年12月期	6,795,020株
② 期末自己株式数	30年12月期3Q	3,290株	29年12月期	3,220株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年12月期3Q	6,793,369株	29年12月期3Q	6,780,805株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府や日銀による経済政策を背景に企業収益や雇用環境の改善が進んだことにより、緩やかな回復基調が続いております。一方、相次ぐ自然災害や米国と中国との間での貿易摩擦の激化による影響が、世界経済全体のリスクとして懸念される等、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループは、デジタルによるコンテンツの創作から利用・活用に至るまでの諸活動を、トータルに支援できる環境の提供を経営理念に掲げ、事業を推進しております。

当第3四半期連結累計期間におきましても、引き続きソフトウェアIPを核とした経営に重点を置き、開発リソースの戦略的配置等、経営効率向上に注力しております。

その結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は2,827,532千円（前年同期比2.5%増）、営業利益は428,322千円の営業利益（前年同期比17.0%減）となりました。

また、経常利益につきましては、支払利息1,171千円、為替差損6,685千円を計上したこと等により、417,305千円の経常利益（前年同期比17.6%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、税金費用81,769千円を控除したこと等により、343,546千円の親会社株主に帰属する四半期純利益（前年同期比21.3%減）となりました。

事業別セグメントにつきましては、以下のとおりであります。

<クリエイターサポート事業>

当第3四半期連結累計期間では、マンガ・イラスト・アニメ制作ソフトウェア「CLIP STUDIO PAINT」において平成24年の発売開始からの全世界における累計出荷本数が、400万本を超えました。

また、電子書籍ソリューションのブランド名を「BS Reader」から「CLIP STUDIO READER」に変更し、CLIP STUDIOソリューションとの連携の強化に取り組んでおります。

さらに、株式会社奈良新聞社主催の現代「阿修羅」展へ協賛し、現代における新しい「阿修羅」の姿をテーマにしたイラストコンテストに「CLIP STUDIO PAINT」を提供いたしました。

なお、インターネットを通じて、イラスト、マンガ、アニメ、小説を制作するクリエイターの創作活動をトータルに支援するwebサイト「CLIP STUDIO」においては、平成30年9月末時点の登録者数は134万人となっております。

以上の結果、売上高は2,175,876千円（前年同期比19.5%増）、営業利益は437,771千円（前年同期比40.6%増）となりました。

<UI/UX事業>

UI/UX事業では、自動車（四輪・二輪）関連分野を筆頭に、HMIの基盤であるUIオーサリングソフトウェア群「exbeans UI Conductor」（エクスビーンズユーアイコンダクター）を始めとする自社IP製品の開発に注力しております。

「exbeans UI Conductor」は、プリンター分野において、セイコーエプソン株式会社のプリンターへの搭載台数が、累計で300万台を超えました。また、車載機器については、引き続き、主要Tier-1（一次サプライヤー）企業での本格採用に向けた機能の強化と、イベント・フェアへの出展によるビジネス創出を推進しております。

なお、平成27年8月より大手OEMの車載機器向けサービスソフトウェアに採用されている当社製品は、北米市場を中心とした出荷台数が累計で268万台を超えております。

以上の結果、売上高は688,222千円（前年同期比30.6%減）、営業損失は54,207千円（前年同期は158,933千円の営業利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べて225,407千円増加し4,249,523千円となりました。この主な要因は、ソフトウェアが70,515千円減少した一方で、現金及び預金が111,825千円、仕掛品が63,461千円増加したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比べて97,636千円減少し759,008千円となりました。この主な要因は、賞与引当金が40,729千円増加した一方で短期借入金140,000千円、1年内返済予定の長期借入金が49,816千円、長期借入金が18,080千円減少したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて323,044千円増加し3,490,515千円となりました。この主な要因は、利益剰余金が316,379千円増加したこと等によるものであります。なお、自己資本比率は、81.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年12月期の連結業績予想につきましては、7月27日の「平成30年12月期第2四半期業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしましたとおりであり、当該記載内容からの変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,491,012	2,602,837
売掛金	320,305	317,988
製品	4,884	3,549
仕掛品	5,694	69,156
原材料及び貯蔵品	15,449	27,958
繰延税金資産	28,903	38,346
その他	133,019	219,519
貸倒引当金	△2,864	△2,497
流動資産合計	2,996,405	3,276,859
固定資産		
有形固定資産		
建物	75,799	77,051
減価償却累計額	△46,604	△49,953
建物(純額)	29,194	27,097
工具、器具及び備品	225,697	216,759
減価償却累計額	△184,684	△175,707
工具、器具及び備品(純額)	41,012	41,052
車両運搬具	3,924	3,924
減価償却累計額	△1,306	△1,960
車両運搬具(純額)	2,617	1,963
リース資産	3,942	3,308
有形固定資産合計	76,767	73,422
無形固定資産		
ソフトウェア	692,368	621,852
ソフトウェア仮勘定	19,125	23,525
その他	30,489	44,362
無形固定資産合計	741,982	689,740
投資その他の資産		
投資有価証券	81,681	86,607
敷金及び保証金	113,777	114,370
その他	13,500	8,523
投資その他の資産合計	208,959	209,501
固定資産合計	1,027,710	972,664
資産合計	4,024,115	4,249,523

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	80,707	78,510
短期借入金	190,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	84,964	35,148
未払法人税等	48,983	72,166
返品調整引当金	540	485
賞与引当金	44,052	84,781
その他	227,154	235,201
流動負債合計	676,402	556,292
固定負債		
長期借入金	18,080	—
役員退職慰労引当金	32,880	55,325
退職給付に係る負債	123,068	138,590
リース債務	4,257	3,573
繰延税金負債	1,955	5,227
固定負債合計	180,242	202,715
負債合計	856,644	759,008
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,063,930	1,065,325
資本剰余金	543,057	544,452
利益剰余金	1,545,457	1,861,837
自己株式	△3,085	△3,187
株主資本合計	3,149,359	3,468,427
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,375	8,403
その他の包括利益累計額合計	3,375	8,403
新株予約権	14,736	13,684
純資産合計	3,167,471	3,490,515
負債純資産合計	4,024,115	4,249,523

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
売上高	2,757,592	2,827,532
売上原価	1,397,578	1,468,695
売上総利益	1,360,013	1,358,837
返品調整引当金戻入額	1,281	540
返品調整引当金繰入額	527	485
差引売上総利益	1,360,767	1,358,892
販売費及び一般管理費	844,766	930,569
営業利益	516,001	428,322
営業外収益		
受取利息	57	60
受取配当金	542	682
その他	26	8
営業外収益合計	626	750
営業外費用		
支払利息	2,934	1,171
為替差損	2,505	6,685
特許権償却	2,683	2,634
その他	1,856	1,276
営業外費用合計	9,980	11,768
経常利益	506,646	417,305
特別利益		
投資有価証券売却益	—	7,459
新株予約権戻入益	115	552
特別利益合計	115	8,011
特別損失		
減損損失	12,772	—
特別損失合計	12,772	—
税金等調整前四半期純利益	493,989	425,316
法人税等	57,679	81,769
四半期純利益	436,309	343,546
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	436,309	343,546

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	436,309	343,546
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,723	5,027
その他の包括利益合計	2,723	5,027
四半期包括利益	439,033	348,574
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	439,033	348,574
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法としております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成29年1月1日 至 平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	クリエイター サポート事業	UI/UX事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,765,640	991,951	2,757,592	—	2,757,592
セグメント間の内部 売上高又は振替高	54,808	402	55,210	△55,210	—
計	1,820,448	992,353	2,812,802	△55,210	2,757,592
セグメント利益	311,346	158,933	470,279	45,721	516,001

(注) 1 セグメント利益の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない全社収益、全社費用の純額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「クリエイターサポート事業」セグメントにおいて、将来使用見込がなくなったソフトウェアについて減損損失を12,772千円計上しております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成30年1月1日 至 平成30年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	クリエイター サポート事業	UI/UX事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,139,310	688,222	2,827,532	—	2,827,532
セグメント間の内部 売上高又は振替高	36,566	—	36,566	△36,566	—
計	2,175,876	688,222	2,864,098	△36,566	2,827,532
セグメント利益又は損 失(△)	437,771	△54,207	383,563	44,758	428,322

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない全社収益、全社費用の純額であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。